

新規事業採択時評価結果一覧

(平成27年1月時点)

【公共事業関係費】
 【空港整備事業】
 (直轄事業)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析				貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)	B／C		
		便益の内訳及び主な根拠					
福岡空港滑走路増設事業 九州地方整備局 大阪航空局	1,588	3,822	【内訳】 利用者便益 3,092億円 (一般化費用低減) 供給者便益 149億円 (着陸料収入等) 残存価値 581億円 【主な根拠】 需要予測結果 平成37年度:2,019万人 平成42年度:2,050万人 平成47年度:2,110万人	1,436	2.7	■安定的な輸送機能を確保 ・空港の混雑を緩和し、定時性を確保することで、福岡訪問客の快適な旅行を支えるとともに、ビジネス需要への適確な対応が可能となる。 ・滑走路一本の状態で生じる航空機トラブル等による滑走路閉鎖時にも、もう一本の滑走路による運用が可能となる。 ■安全・安心の確保 ・災害時の移動手段機能が向上する。 ■観光・MICEの促進、地域経済への波及効果 ・利便性の高い時間帯(ピーク時間帯)に新規就航便や増便が可能となり、福岡空港の利用を諦めていた利用者を獲得することで福岡・九州の経済・交流の発展に寄与する。 ・国内外の他地域からの入域客数の増加が期待される。また、入域客数の増加は、他地域との交流を活性化させるとともに、九州観光を促進させ、観光消費の増大をもたらす。 ・集客交流の活性化により、関連産業の雇用機会の拡大、企業生産や地域所得の増大が期待される。 ・国際線の増加により、国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進と外国人ビジネス客の取り込みが強化される。	航空局 航空ネットワーク部 空港施設課 (課長 長谷川 武)